

2021年3月25日

～「乳酸菌 シロタ株」と「ガラクトオリゴ糖」が含まれる機能性表示食品～

「ヤクルト400W」^{ダブル}の販売地区を拡大

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸孝成）は、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400W」の販売地区を拡大します。

「ヤクルト400W」は現在、九州・中国・四国・近畿地区全域と富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県で販売し、お客さまから好評を得ております。この度、2021年5月31日から販売地区を関東1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に拡大します。

本品に含まれる「乳酸菌 シロタ株」と「ガラクトオリゴ糖」には、「良い菌（乳酸菌、ビフィズス菌）を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があること」が報告されています。

なお、「ヤクルト400W」の2021年6月から2022年3月までの販売目標は1日当たり660千本です。

**【商品特長】**

- ヤクルト独自の「乳酸菌 シロタ株」が1本（80ml）に400億個含まれています。
- 腸内の良い菌を増やす「ガラクトオリゴ糖」が1本に5.0g含まれています。
- ヤクルトの風味を踏襲しながらも、継続飲用しやすいすっきりとした風味です。
- 「お通じを改善する」ことが報告されている「乳酸菌 シロタ株」と「ガラクトオリゴ糖」が機能性関与成分の機能性表示食品です。（届出番号：F151）

<届出表示>

本品には生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）とガラクトオリゴ糖が含まれます。乳酸菌 シロタ株（L. カゼイ YIT 9029）とガラクトオリゴ糖には、良い菌（乳酸菌、ビフィズス菌）を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されています。

- ・本品は、事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨を表示するものとして、消費者庁長官に届出されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。
- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・多量に摂取することにより、疾病が治癒したり、より健康が増進するものではありません。摂り過ぎあるいは体質・体調によりおなかがゆるくなることがあります。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

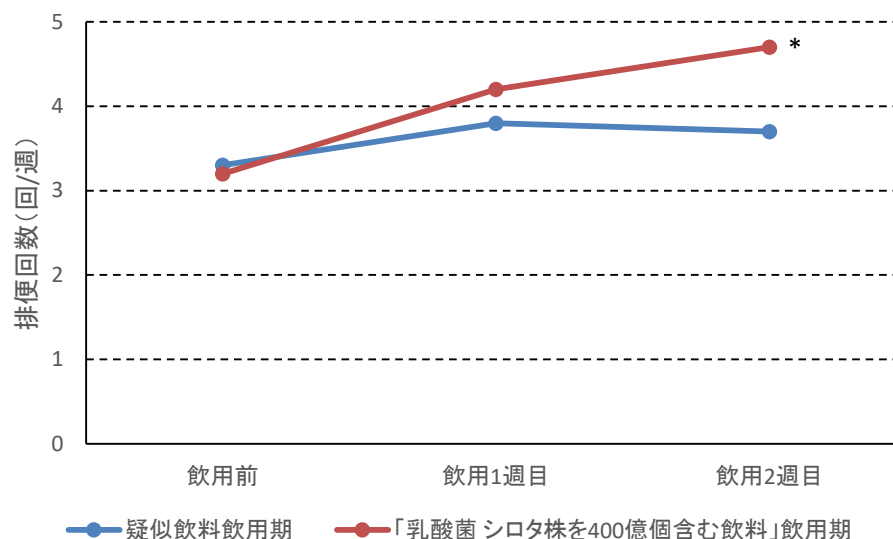
◆商品情報

- ・商品名：「ヤクルト400W」
- ・商品分類：乳製品乳酸菌飲料
- ・容量：80ml／本
- ・希望小売価格：100円／本、700円／7本パック（いずれも税別）
- ・販売チャネル：ヤクルトレディによる訪問販売
- ・販売エリア：九州・中国・四国・近畿地区全域、富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県
【2021年5月31日から】
関東1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）

【参考資料：乳酸菌 シロタ株およびガラクトオリゴ糖のお通じを改善する機能】

＜乳酸菌 シロタ株の摂取による排便回数の増加＞

- 便秘気味の健常人40名を2群に分け、それぞれに「乳酸菌 シロタ株を400億個含む飲料」（以下、「乳酸菌 シロタ株飲料」）または疑似飲料（味や外見は同じで、有効成分を含まないもの）を1日1本（80ml）、2週間飲用してもらいました。3週間の非飲用期間を設けた後、各群が飲用する飲料を入れ替えて、疑似飲料または「乳酸菌 シロタ株飲料」を1日1本（80ml）、2週間飲用してもらいました。
- その結果、被験者の中でも飲用前の排便回数が週に4回以下の人（21名）において、「乳酸菌 シロタ株飲料」飲用期では、疑似飲料飲用期と比較して、飲用2週目の排便回数が有意に増加しました。



ウィルコクソン符号順位検定 * : $p < 0.05$

（「乳酸菌 シロタ株を400億個含む飲料」飲用期と疑似飲料飲用期の比較）

＜＜出典＞＞

掲載誌：Bioscience and Microflora, 25(2), 39-48, 2006

論文表題：The Effects of a Probiotic Milk Product Containing *Lactobacillus casei* Strain Shirota on the Defecation Frequency and the Intestinal Microflora of Sub-optimal Health State Volunteers: A Randomized Placebo-controlled Cross-over Study

著者：K. Matsumoto, T. Takada, K. Shimizu, Y. Kado, K. Kawakami, I. Makino, Y. Yamaoka, K. Hirano, A. Nishimura, O. Kajimoto and K. Nomoto

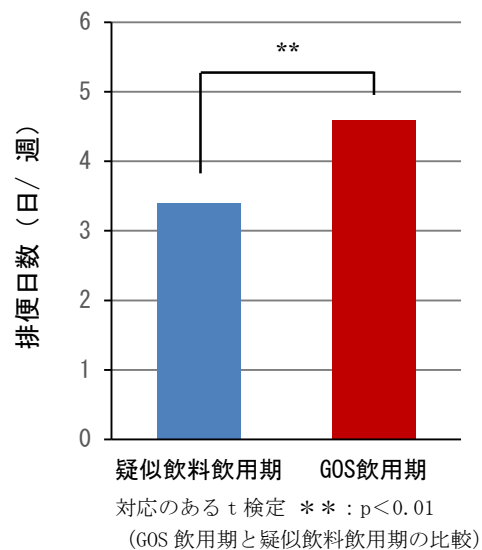
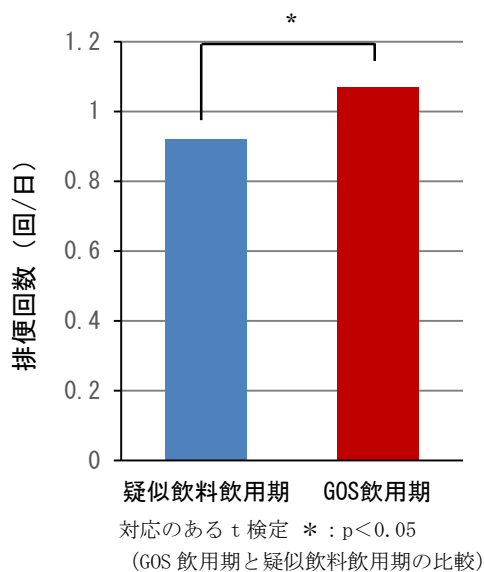
※文献中の表の数値を基にグラフを作成しています。

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。

＜ガラクトオリゴ糖（GOS）の摂取による排便回数・排便日数の増加＞

- 便秘気味の健常人37名を2群に分け、それぞれに「ガラクトオリゴ糖を5.0g含む飲料」（以下、GOS飲料）または疑似飲料を1日1本（100ml）、1週間飲用してもらいました。1週間の非飲用期間を設けた後、各群が飲用する飲料を入れ替えて、疑似飲料または「GOS飲料」を1日1本（100ml）、1週間飲用してもらいました。
- その結果、「GOS飲料」飲用期では、疑似飲料飲用期と比較して、排便回数が有意に増加しました。
- また、被験者の中でも疑似飲料飲用期の排便回数が週に4回以下の人（10名）において、「GOS飲料」飲用期では、疑似飲料飲用期と比較して、排便日数が有意に増加しました。



《出典》

掲載誌：栄養学雑誌, 55(1), 13-22, 1997

論文表題：β1-4系ガラクトオリゴ糖の摂取が便秘傾向の健常人の便通及び便性改善に及ぼす影響

著者：出口ヨリ子, 松本圭介, 伊藤彰敏, 綿貫雅章

※文献中の表の数値を基にグラフを作成しています。

《データ選択理由》

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。